



右：エントランスからは、曲線と色彩が織りなす豊かな表情が広がっています。

左：特徴的な円柱形の柱の向こうには、寛ぎと癒しの空間が控えています。

Q2 『風水店舗』を実際に造られるまでには、どのような変化や体験がありましたか……。

その病院では、比較的自由度が高い治療を患者さんに行うことができ、また仔細なコミュニケーションを患者さんとの間でとることも可能な環境であったことから、以前にも増して私の中にあった「探究心」がますます強くなつていきました。

ある時、たまたまWEBで見つけた『リセット療法』という民間療法のページと出会い、とても興味を惹かれました。そこで静岡まで行き、体験治療を受けてみたところ、しつかりとした独自の「方法論」をもち、また、誰にでも施術ができるような「メソッド」も存在していることがわかり、この日本オリジナルの療法を真剣に学び始めることにしました。

実は、この「リセット療法」との出会いが、私の後の人生を大きく変えていく最大の要因にもなりました。それは、この療法が、私が絶えず自問自答しながらも求め続けてきた「身体を元の状態に戻す」という、シンプルで最も難しい課題に対して、真摯に向き合っていたからでした。

元来、人間の細胞が分裂を始める初期の段階では、皮膚と脳（中枢神経系のニューロンやメラノサイトなどを形成）は同じ「外胚葉」にあります。また、人間の快と不快という感情には、大きく「大脳」が関与していることは既成の事実で、「快」を感じると「身体がゆるみ」、「不快」を感じると「身体が緊張して歪む」ことがわかってきています。このような科学的な実証から、私は「手」、「皮膚」から優しい刺激を与えることで「脳」が「快」の状態を感じるのではないかと考え、これが「手当て」の語源でもあるのではないかと思いました。子育てをした経験が、この「確信」を裏付けてくれ、また自信へと繋がっていき……

新たな出会いがもうひとつ起こりました。現在のパートナーである高橋先生との出会いです。彼女はとても能力があり、また、やる気もあり、病院では看護助手をしていたのですが、私と親しくなるにつれて療法士になりたいと思うようになっていきました。私も彼女を後継者として育てたいと考えていたのですが、理学療法士は国家試験が必須で、既に結婚し子供が生まれたばかりの彼女には難しい道でした……。そこで彼女は「リセット療法」を学びながら、私の独立を待つことになりました。ところが、新たに職を得た会社が突然、倒産し背中を押されるように二人は独立開業へと全速力で走り始めることになったのです。

それは幼い頃から既に決まっていたことなのかも知れない。
一旦は医療の仕事から身を引き、妻となり母になった。
しかし、我が身の内から聞こえる声につき動かされ
自らの可能性への挑戦を再始動する 至極の「空間」を造る。

右：暖かくライトアップされたサインの奥には、温もりを感じられる空間が待ち構えています。

左：照度を落とした空間は、深い安らぎ感をもたらしてくれます。

風水インタビュー FENG-SHUI Interview

ボディケアセンター 柏リセット整体院

千葉県柏市新柏3-17-13

04-7192-8150 (完全予約制)

受付時間：午前9時～午後7時(不定休)

風水店舗を訪ねて

千葉県柏市

ボディケアセンター
柏リセット整体院
院長 永井美香子様

「健康な身体」を取り戻す手助けをすることで、社会貢献に寄与する。
「天より与えられたチャンス」を活かし、世界平和の礎を築く夢を追う。

Q1 『風水店舗』に出会ったきっかけとは、何だったのでしょうか……。

高校を卒業した後、「理学療法士」になるために専門学校に入りました。当時、私は兵庫県の山間部にある田舎町で子供の頃からのんびり、幸せな暮らしをしていたのですが、中学の修学旅行で行った『原爆ドーム』の記憶が鮮烈で、その現実を直視できなかった自分の弱さを克服したいと子供心に思ったことが、私のその後の人生を決めたのだと今でも思っています。

自分を見つめ直す機会にもなり、また、何か人の役に立てることがしたくて、その道を選んだのですが、いざ「その職」に就いてみて、初めて医療界の現実を目の当たりにし、無力感に苛まれ、結婚と同時に職を辞し家庭に入りました。

14年のブランクを経て社会復帰をし、訪問リハビリを行っていた病院に再就職しました。専業主婦をしていた期間は、独学で「自然療法」や「伝承医学」などの勉強をしていたのですが、主人がインド哲学の研究を仕事としていたこともあり、私たち家族では「瞑想」の時間を設け、家族全員で今も毎日、実践しています。

2年前の夏、患者さんでもあり、友人でもあった方から松永先生の話を聞き、また、自宅をその方に風水鑑定してもらったことが縁で、『風水』の世界に興味をもつようになりました。「嗅覚、視覚、空気」など五感と病や人の健康が密接に関係していることは、体験的にもまた、「アユルベータ」を学んできた経験からもすぐに理解できましたし、とても同感できる部分が多いなどその頃は感じていました。

当時働いていた病院にある日、高名なスポーツ医学の先生が来られました。先生に触発されているいろいろな研修会やセミナーにも顔を出すようになり、同時に周りの医師や療法士の先生たちの「感受性」の強弱なども気になり始め、病院の中では、どこか「浮いた」存在になつていく自分を徐々に感じ始めました。

その後、その方たちの紹介もあって「内科」で理学療法士を探している病院があることを知り、自然に、その病院へと移ることになっていきました。

Q3 『風水店舗』を開店されてから、どのような変化や周りからの反応がありましたか……。

「あの空間がこんなにも変わるの」というのが最初に完成した診療所を見たときの率直な感想です。壁・床にダイアトームスを使用したことで、空気が以前とはまったく違い、場に「浄化作用」が働いていることにすぐに気がつきました。来院者の皆様からの「外から入ってくると別世界だね」とか、「ここは気持ちが良いから待たせても苦にならないね」などの好評判だけでなく、私たち自身も働いていて本当に楽しく、そして癒される空間だと感じています。

振り返れば、5月末にこの場所を決め、すぐに鑑定をして頂き、デザイン・工事と息をつく間もなく話が進み、7月26日完成、8月1日には松永先生の鑑定どおり奇跡的に開業ができました。私が『リセット療法』の上級クラスを卒業したのが7月末。それまで高橋先生が以前ショップの店長をしていた経験を活かし、開店準備をひとり進めてくれました。

実は、この奇跡的な開業劇は期間だけではなく資金面でも起こりました。余りにも突然に独立開業する話になったので、資金的な問題を抱えたまままでいたのですが、まず、両親が開業資金を貸してくれる話になり、また、友人からは「あなたとは前世で何かの繋がりがあったよね」と貸し付けを申し出てくれ、最後には、初めての事業なのにも関わらず金融公庫の審査にも通りました。突然、吹き始めた風に乗る遂に自分たちの待望の診療所が完成していきました。

開業して早や3ヶ月が過ぎましたが、口コミでお客様がお客様を呼んでくださるようになってきて、毎日15〜16名の患者さんがコンスタントに訪れてきています。「生活習慣の歪みを直し」、「病気にさせない身体をつくる」という私たちの理念に賛同してくださる、意識の高いお客様や喜びを素直に表現してくれる患者さんが多く来院されています。

これからもっと多くの人々の健康に貢献し、従業員も幸せになれる診療所を作っていくことをモットーに、さらに事業を展開していきたいと考えています。